

## 電子機器や車載用電子部品のイノベーションを支える CAE 技術・信頼性解析技術の活用と技術者育成を支援します。

平成31年3月 1 日より、株式会社プラリンクの特別顧問に就任いたしました于強です。

今は 100 年に一度の物作り、サービス作りの大変革期であると言われています。トヨタ自動車の豊田社長の言葉を借りて言えば、「海図なき戦い」が始まっています。それはニーズのトレンド、技術のトレンド、国際ルールトレンドもない戦いであるとも言えます。全ての既存技術が淘汰される可能性に晒されて、たくさんの既存システムが取り換えられる可能性があります。では、根底に残って勝負を決着してくれるコアは何でしょうか？それは技術者のイノベーション力と創造性ではないかと思えます。

私は 1992 年から横浜国立大学の機械工学分野において CAE による設計支援と信頼性評価に関する研究に携わってきました。これまでに経験した 200 以上の企業の共同研究と国の研究プロジェクトから得られた知見に基づいて、企業の技術開発のイノベーションと技術者の創造性を支援するための考え方と CAE 技術の活用方法を提案してきました。特に最近では電子機器や車載用電子部品、パワーモジュールなどの開発、設計、材料評価と信頼性解析に関わっております。

これまでの経験を活かし、プラリンク社のこれらの技術分野における技術支援力の向上に尽力させて頂く所存です。どうぞよろしく願いいたします。

株式会社プラリンク 特別顧問 于 強(横浜国立大学大学院工学研究院教授)